

経営比較分析表（令和2年度決算）

静岡県 静岡市

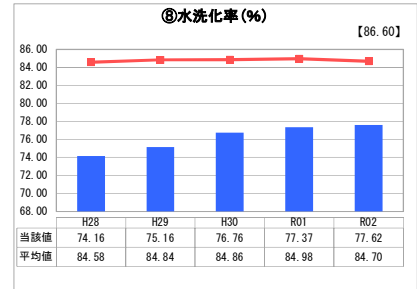
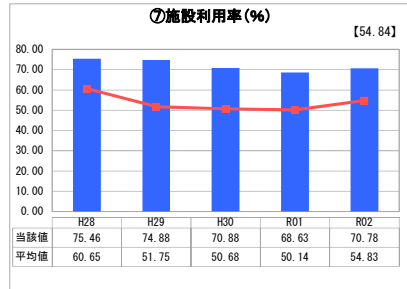
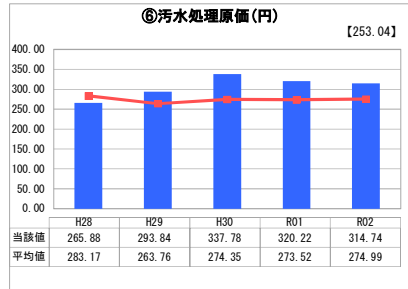
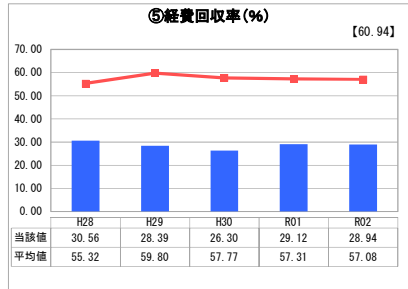
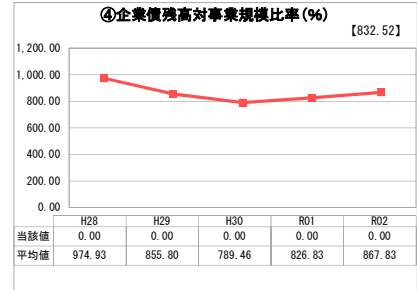
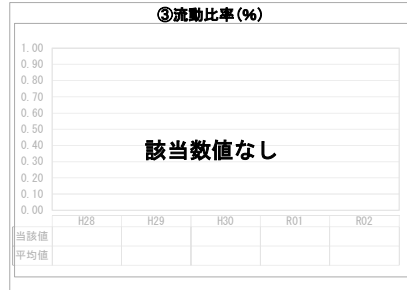
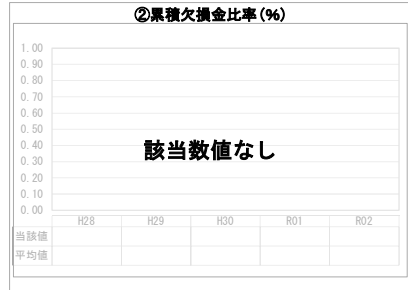
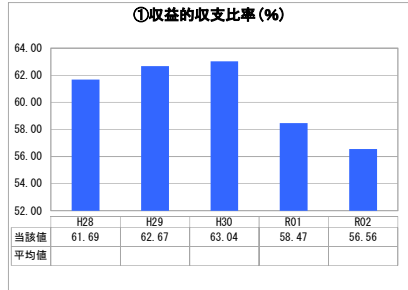
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	0.61	100.00	2,750

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
694,296	1,411.83	491.77
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
4,253	1.74	2,444.25

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

施設利用率は、他都市と比べても値は高いことから、施設の規模は適正といえるが、起債の償還金においては100%、維持管理費もその大半を繰入金によって賄っていることから、収益的収支比率、経費回収率ともに低い値となっている。

また、維持管理費用が増傾向にあり、施設整備における起債依存度も高いため、汚水処理原価も他都市に比べて高い値である。

使用料収入は微増で推移しているものの、今後は施設整備を継続的に行っていくとすると、いずれの値も同程度で推移する見込みである。

2. 老朽化の状況について

【施設】
供用開始から年数が経つ処理区については、令和2年度の葛沢地区の機器更新により、一通りの地区の更新が完了した。以後は最適整備構想を策定し、より効率的な更新に努めていく。

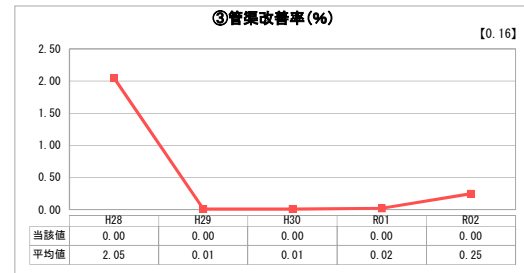
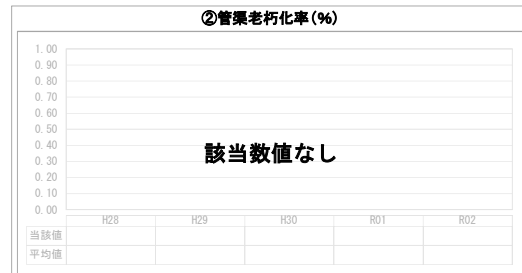
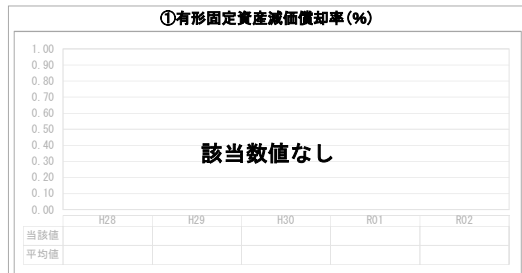
【管路】
現時点では、早急に更新が必要な状態の管渠はないものの、管渠の耐用年数を考慮すると供用開始から年数がたつ処理区においては、更新に備える必要があるため、最適整備構想を踏まえた整備計画のなかで更新を検討していく。

全体総括

使用料収入は微増の傾向があるものの、今後は人口減少等により減収に転じる可能性が高く、繰入金の依存度も高い状態が継続する見込みである。

そういった事業環境等の中において、市内11カ所の処理施設を安定的に維持していくために、最適整備構想を策定し、必要な施設整備を効率的に進める整備計画を作成するとともに、地方公営企業法への移行を進め、経営マネジメントの強化を図っていく。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。